



「光つつ 沖をいくなりいかばかり  
たのしき夢を載する白帆ぞ  
寛」

「吉浜の 真珠の荘の山ざくら  
嶋にかさなり海にのるかな  
晶子」

種別 歴史資料

員数 1基

所在地 湯河原町吉浜

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

年代 昭和18年

與謝野夫妻（與謝野寛…1873年～1935年・晶子…1878年～1942年、歌人・詩人）は、ともに進歩的な考えをもち、従来の歌風にこだわらず、人間の情熱的な生き方をおおらかに歌いあげ、自身もそんな生き方をしました。

当時、與謝野寛（鉄幹）らが出した雑誌「明星」に挿絵を描いていた、真鶴在住の三宅画伯は、彼の友人有賀精（ありがつとむ）氏所有の真珠荘を夫妻に紹介しました。二人は昭和7年から17年までの10年間、幾度となくここを訪れ、その都度1週間から10日間ほど滞在しました。

この碑に刻まれた歌は、この地で二人が詠んだ数千首の中から選ばれたものです。

Name : Yosano Hiroshi & Akiko Remri-kahi "Monument of Hiroshi and Akiko Yosano's *Tanka* Inscription"

Designated Cultural Property (one Stone Sculptue)

Location : Yoshihama, Yugawara

Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1982

by Yugawara Town

Build in 1943

Tanka is a traditional Japanese poem containing five lines of 5, 7, 5, 7 and 7 syllables, respectively.

Hiroshi "Tekkan" and Akiko Yosano were famous Tanka poets.

Their poem were very modern and were expressed in a passionate way.

Artist Miyake, who lived in Manazuru, invited them to his friend's summer house in Yugawara. Thousands of Tanka about Yugawara were written then.



種別 有形民俗文化財  
 員数 1基  
 所在地 湯河原町福浦129番地(子之神社)  
 指定 町指定文化財 昭和57年4月1日  
 形状 置き屋台 材質 木材 樺(けやき)  
 規模 高さ2m52cm、横4m10cm、幅3m56cm  
 年代 不詳(江戸時代、天保年間かその前後)  
 小川義長作(浅草彫工)

この屋台は、飾り屋台と呼ばれているように、町内を引き回すものではなく、祭礼のたびに組み立て一定の場所に据え置き、中でお囃子を演ずるものです。

この種の屋台は、町内に素鷲(すが)神社(吉浜地区)に2基、五郎神社(鍛冶屋地区)、八幡神社(門川地区)、産土(うぶすな)八幡神社(城堀地区)そして子之(ね)の神社(福浦地区)に各1基ずつあります。

中でも子之神社のものが最も美しく、昔のままによく保存されています。屋台は芸術上価値の高い彫刻や絵画により構成されており、こうした屋台を所有できた江戸時代の湯河原の庶民の経済力並びに信仰習俗の一端をうかがい知ることができます。

Name : Neno Jinja no Kazari yatai, "Decorated Festival Float of Neno Shrine"

Designated Tangible Folk Cultural Property (float)

Location : 129 Fukuura, Yugawara

Designated as Tangible Folk Cultural Property on

1st Apr. 1982 by Yugawara Town

Style : Float made of wood (Japanese Zelkova)

Dimension : Height 2m52cm side 4m10cm width 3m56cm

Constructed during Edo period

Carver & Artist : Yoshinaga Ogawa

This decorated festival float is not for pulling but to be set on the fixed location.

Performers play the Japanese festival music inside the float.



種別 石造物  
員数 1基  
所在地 湯河原町宮下697番地の1  
指定 町指定文化財 昭和57年4月1日  
年代 室町時代(推定)

宝篋印塔(ほうきょういんとう)の名称の起こりは、唐の高僧不空三蔵(ふくさんそう)の訳による宝篋印陀羅尼經(ほうきょういんだらにきょう)という經文を塔の中に納めて、礼拝供養したことによります。

塔の構造は、下部より基礎・塔身・笠・相輪の四つから成っています。実際に石塔が造られたのは、鎌倉時代以降のことで、武将や豪族の供養塔・墓碑として使われました。鎌倉時代のもは、一般的に規模が大きく安定感がありますが、室町時代になると小さく細長い形になってきます。

聖ヶ窪の宝篋印塔のある丘は五輪山(ごりんさん)と呼ばれ、大正末期まで、近隣の人々が集まって祭礼を行っていました。この塔は、民間信仰と仏教の伝承を知る上で貴重な資料です。また、構造や歴史の点でも、城願寺の土肥一族の墓所にある宝篋印塔に匹敵するものです。

Name : Hijirigakubo no Hokyo-in-tō, "Hokyo-in-tō (Stone pagoda) of Hijirigakubo"  
Designated Cultural Property (stone sculpture)  
Location : 697-1 Miyashita, Yugawara  
Designated as Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town  
Constructed during Muromachi Period

*Hokyo-in* is the Sutra written by Hokyo-in Darani and translated by High Priest Sanzo.  
This pagoda stands on a hill called Gorin-san, where it had been a place for prayer and festive activities up to the Late Taisho era. It is honored by local beliefs and folklore through Buddhism.



種別 天然記念物

員数 1地域

所在地 湯河原町宮上750番地・751番地  
(不動滝一帯)

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

この沸石(ふっせき)は、1930年桜井欽一博士によって初めて湯河原の不動滝で発見され、学名に湯河原と冠せられました。

沸石は、温泉活動により火山岩のすきまや脈の中にできる鉱物で、酸によって加熱していくと、沸騰するように溶けることから沸石と呼ばれています。

沸石の仲間、世界で30~40種ほど知られていて、湯河原で確認されているものは7種類あり、湯河原沸石はその1種です。

無色透明または白色半透明の板状の結晶で、硬度4.5度、比重2.2、ガラスまたは真珠のような光沢があります。他の多くの沸



石と違い、塩酸に溶けない性質があります。

Name : Yugawara Fusseki, "The largest volcanic rock in Yugawara"  
Designated Natural Monument Protected Species  
Location : 750 and 751 Miyakami, Yugawara  
Designated as Natural Monument Protected Species on  
1st Apr. 1982 by Yugawara Town

The largest Yugawara Zeolite was found by Doctor Sakurai in 1930 at Fudo-Taki (water fall). Its Scientific Name is called Yugawara Zeolite. Usually Zeolite can be melted in Boiling Acid. "Futsu" means boiling & "Seki" means stone. The name of "Fusseki" zeolite originated from the characters of melting from boiling. But Yugawara Zeolite does not dissolve in acid.



種別 天然記念物

員数 1地域

所在地 湯河原町宮上750番地・751番地  
(不動滝一帯)

指 定 町指定文化財 昭和57年4月1日

不動滝で発見された湯河原沸石は、伊豆半島で最も古い新第三紀湯ヶ島層から発見されています。

沸石は、湯ヶ島層が露出している藤木川をさかのぼり、奥湯河原、湯河原浄水場、蛇態橋の付近でも発見されていますが、ここでは他に次のような沸石が産出しています。◎濁(たぐ)沸石 ◎モンデン沸石 ◎剥(はく)沸石 ◎菱(りょう)沸石などです。

湯河原沸石の産地は、湯河原温泉の泉源とほぼ一致している点、沸石は温泉と密接な関係があると考えられます。

Name : Yugawara Fusseki no sanchi is the area of Yugawara which produces volcanic rock.

Designated Natural Monument Protected Species

Location : 750 and 751 Miyakami, Yugawara

Designated as Natural Monument Protected Species  
on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town

This area is famous for Yugawara Zeolite which was found at Fudo-Taki (water fall). Laumontite, Mordenite, Epistilbite, Chabazite are also found in this area.



種別 天然記念物

所在地 湯河原町宮上566番地（万葉公園）

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

万葉公園の入り口に大きな石が置いてあります。表面はごつごつして、ただの石にしか見えませんが、よく観察すると黒く光るつやのある部分が見えます。これは黒曜石（こくようせき）の塊で、鍛冶屋の瑞應寺（ずいおうじ）というお寺の付近から掘り出されたものです。

黒曜石は、火山から噴き出た溶岩が急に冷やされたときにできる岩石で、色は黒が多く、場所によりチョコレート色や乳白色に濁るものもあります。この石の割れ口は、ガラスのように鋭いので先土器時代や縄文時代には、打製石器を作る材料としてよく使

用されました。

この石は、現在湯河原で発見されている最も大きな塊として保存されています。

Name : Kokuyoseki, "Largest Obsidian in Yugawara"  
Designated Natural Monument Protected Species  
Location : 566 Miyakami, Yugawara  
Designated as Natural Monument Protected Species on  
1st Apr. 1982 by Yugawara Town

There is a big stone at the entrance of Manyo Park. You can see some glossy parts just below the surface. This Obsidian is the largest one found in Yugawara.



種別 史跡

員数 1地域

所在地 湯河原町鍛冶屋440番地

指定 町指定文化財 昭和57年4月1日

湯河原町鍛冶屋の瑞應寺（ずいおうじ）の裏山一帯を尾崎山といいます。このあたりには黒曜石の破片が落ちていたり、塊が埋まっていたりします。黒曜石は原始時代の人々が打製石器の材料として使ったもので、火山帯にしか産出せず、その場所はごく限られています。関東周辺では長野県の和田峠、伊豆の天城峠や神津島、箱根の芦ノ湯付近と湯河原の鍛冶屋にしかありません。関東の遺跡からは黒曜石で作った石器がよく発見されています。湯河原はその原産地の一つであった可能性が十分考えられます。

Name : Kokuyoseki saikutsu ato, "Historic Site of Obsidian stone Mine"

Designated Historic Site (obsidian mine)

Location : 440 Kajiya, Yugawara

Designated as Historic Site on 1st Apr. 1982 by

Yugawara Town

Obsidian was used as material for chipped stone in primitive times. Obsidian are produced & found only in volcanic zone.



種別 無形民俗文化財  
 所在地 湯河原町城堀  
 指定 町指定文化財 昭和57年4月1日  
 保存者 城堀元服祝い唄保存会  
 人数 15名

この祝唄は、城堀地区が堀之内村といわれていた明治の初期、若衆(わかしゅう)の組織が生まれ、数え年15歳を迎えた少年たちが若衆に入会する際の入会式に取り入れられました。以来昭和36年頃、青年団が解散するまで引き継がれてきたものです。今日の成人式である入会式は、新入会者とその身元保証人、受け入れ側の若衆組織あるいは青年団の年輩者との間で、めでたい台詞のやり取りが行われました。

誰の助けも借りず人前で発言するということは、それなりの頭の働きと度胸のいることで、地域社会において少年から大人の仲間入りをするためにはそうした資質が必要です。この祝唄はそのテストと、仲間入りの誓いであり、テストを通過することによって初めて社会的に一人前の大人として認められるという加入儀礼の一つの典型として、当時の民俗習慣を知ることができます。

Name : Shirohori Genpuku Iwiuta, "The song that celebrates coming-of-age in the Shirohori area."  
 Designated Intangible Folk Cultural Property  
 Location : Shirohori area, Yugawara  
 Conservator : Celebrate Song for Coming-of-age Preservation Society, Shirohori, Yugawara  
 Designated as Intangible Folk Cultural Property on 1st Apr. 1982 by Yugawara Town  
 Consist of 15 members

The Song was sung as initiation ceremony for 15 years old boy in early Meiji era.  
 To show courage in front of people was one of the typical initiation rites in old Japan.





種別 無形民俗文化財  
所在地 湯河原町鍛冶屋  
指定 町指定文化財 昭和57年4月1日  
人数 指揮者1ないし2名、演者約10名

明治以前から田植えのときや、「まんが」（馬鍬（まぐわ）：昔の農機具の一種）洗いの祝宴または秋の収穫作業などの稲作に関連して唄い継がれてきたものです。

戦後、農業の機械化が進んだこと、併せて都市化により湯河原町にも水田は無くなり、田植唄が聞こえてくるような、のどかな田園風景は見ることができなくなりました。

唄の形式は、唄いあげ「今日の日も昼間になるのに まだ寝てか雨だれすだれ」囃（はやし）唄 「ヤーノ朝日さすまで」というよ



うに指揮者の音頭と囃唄のかけ合いで進行するもので、かつての湯河原の農村風景をうかがい知ることができます。

Name : Kajiya no *taueuta*, "Rice-Planters' song at Kajiya"  
Designated Intangible Folk Cultural Property  
Location : Kajiya Area, Yugawara  
Conservator : Rice-Planters' Song Preservation Society, Kajiya Yugawara  
Designated as Intangible Folk Cultural Property on  
1st Apr. 1982 by Yugawara Town  
Consist of 1 or 2 Conductor & 10 Performers

Farmers were singing at the time of harvest or washing tools. After the War, there were no rice paddy fields in Yugawara, thus the rice-planters' song we cannot hear on a daily base.



種別 天然記念物

員数 1本

所在地 湯河原町宮下357番地（五所神社境内）

指定 町指定文化財 平成9年5月1日

規模 胸高周囲8m80cm 高さ約25m 樹齢800年（推定）

五所神社の銀杏は推定樹齢800年とされ、乳柱（ちばしら）といわれる逆円錐形の気根が数本垂れ下っている老大木です。

主幹は南側に約30度傾いて斜上しています。湯河原町では最大の銀杏です。この斜めに伸びた主幹の下側には多くの乳（ち）と呼ばれる気根が垂れ下がり、乳の神として昔からあがめられてきました。

Name : Gosho *Jinja* no Ichō, "Ginkgo at Gosho Shrine"  
Designated Natural Monument Protected Species (one tree)  
Location : 357 Miyashita, Yugawara (C/O of Gosho Shrine)  
Designated as Natural Monument Protected Species on  
1st May 1997 by Yugawara Town  
Dimension : Trunk 8m80cm Height 25m

This Ginkgo is presumably aged around 800 years.  
This is the biggest Ginkgo tree in Yugawara.